



奥州支部だより

第31号

令和5年2月8日

公益社団法人岩手県看護協会
奥州支部長 菅原 宏 則
支部会員数 572名(令和4年11月30日現在)

支部長挨拶

岩手県看護協会 奥州支部会員の皆様におかれましては支部活動及び各種研修会にご協力頂きまして、心より感謝いたします。

近年、新興感染症の流行により奥州支部の活動が行えない状況になり誠に申し訳ありません。

一般社会では以前の様な生活様式又活動が行われている現実はある一方医療、介護においては制限のある生活が継続しております。

医療、介護施設関係者に心より敬意を表します。

今後の支部活動をどの様な方法、手法で行えるか模索している状況です。

簡単ではありますが支部長挨拶にかえさせていただきます。



公益社団法人岩手県看護協会
奥州支部長
医療法人 清和会 奥州病院
菅原 宏 則

「看護の日」

美山病院 高橋 琴 江

5月7日(土)今年度も、コープあてるいの2階で「看護の日 イベント」を感染防止に努めながら開催いたしました。昨年同様、各病院・施設のピーアールポスターを掲示し、来場していただいた方々にはキティーちゃん看護グッズをお渡ししました。

各施設の情報を知らせていただく良い機会になったと思います。来年はコロナの感染状況を考慮しながら違う形での開催内容を検討していきたいと思っています。

奥州市国民健康保険
まごころ病院

まごころ病棟の願い
「皆さんの、心の拠り所となる施設に
なれるよう、様々な取り組みを
行なうための医療提供とします。
そして、共に暮らし続けたいことを。」

看護部の理念
「看護が市民の健康を支える責任と、
の誇りと責任をもち、地域社会に
貢献する。看護が市民の健康を支える責任と、
の誇りと責任をもち、地域社会に
貢献する。」

全期3年度(月平均)
訪問診療 113件
訪問看護 162件

まごころ病棟で地域連携を進めたい
です。そのためには、地域社会との
連携、医師と看護が協力して医療を
提供し、診療を行っています。
また、看護部が地域に活動し、市民生活
の向上に貢献する取り組みを行っています。

【地域連携の推進】
医師・看護師・薬剤師・検査技師
との連携を推進しています。

訪問診療・訪問看護を実施するため
、地域社会との連携を強化し、
「地域連携」を推進しています。

地域の福祉・高齢者福祉は、高齢化に伴
って深刻な課題を抱えています。地域社会
の福祉向上のため、地域社会との
連携を推進しています。また、地域社会
の福祉向上のため、地域社会との
連携を推進しています。

令和4年度 奥州支部役員紹介

支 部 長	菅 原 宏 則 (奥州病院)	
副 支 部 長	鈴 木 章 子 (美希病院)	佐 藤 美加子 (胆沢病院)
会 計	阿 部 恭 子 (水沢病院)	藤 沢 直 子 (胆沢病院)
書 記	高 橋 琴 江 (美山病院)	菅 原 真美子 (江刺病院)
看護師職能Ⅰ	千 葉 志 保 (胆沢病院)	鈴 木 智 子 (まごころ病院)
看護師職能Ⅱ	藤 原 恵美子 (花穂庵クリニック)	高 橋 浩 美 (水沢病院訪問看護)
保健師職能	高 橋 真美子 (奥州市役所)	
助産師職能	佐々木 里 絵 (水沢看護学苑)	
推 薦 委 員	豊 島 知 美 (江刺病院)	安 藤 ゆかり (胆沢病院)
	小野寺 優 美 (奥州病院)	及 川 貴 野 (美希病院)

看護はひとつ ～心のバトン～

美山病院

看護師 志田 浩子

私が勤務している緩和ケア病棟では、看取り時期が近くなったとき、ご家族が「伝えたいこと」を患者さんに伝えられるように「大切な人と過ごす最後の時間」を大切にしています。

去年父が亡くなった時に短い時間でしたが、家族だけの時間を過ごすことができました。母は父の頬を撫でながら「じいちゃんありがとうね」「苦しまずに逝ってね」と何度も伝えていました。長年連れ添った父との「最後の時間」は、母にとって感謝やお別れの言葉を伝えることができた大切な時間でした。私自身も、家族の立場になって改めて「大切な人と過ごす最後の時間」の意味を実感し、父のいない新しい生活を過ごすためのグリーフケアに繋がると感じました。

